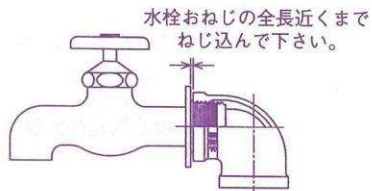


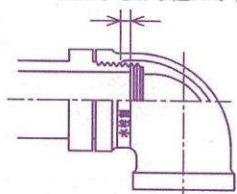
## ⚠ 器具接続用一般型の接合上の注意事項

- 1) 継手の器具接続側(オレンジ色のシール表示有り)の鉄ねじ部には、防食シール剤を塗布して下さい。
- 2) 器具などのおねじ側にも、防食シール剤を塗布、あるいはシールテープ巻きをして下さい。
- 3) 水栓類は、水栓おねじの全長近くまでねじ込んで下さい。ねじ込みが浅いと赤水の原因となります。



- 4) 器具類は、継手鉄ねじ部より2山以上深く器具類のおねじをねじ込んで下さい。ねじ込みが浅いと赤水の原因となります。

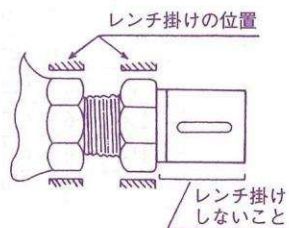
継手鉄ねじ部より2山以上深く器具類のおねじをねじ込んで下さい。



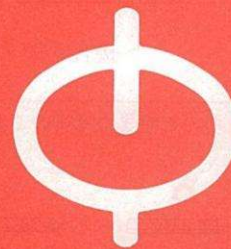
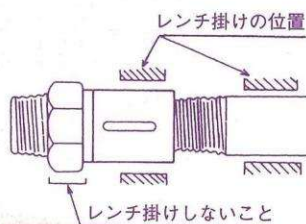
※器具類のねじは、ねじ長さが短いものがあるため、御使用の際は十分注意して下さい。

## ⚠ 器具接続用異種金属接触防止形の接合上の注意事項

- ①アダプターの銅合金側にねじ込む場合、必ず相手側と銅合金側角(六角又は八角)部にレンチ掛けを行ってください。継手本体にレンチを掛けると組立て部に無理な回転力がかかり、組立て部が緩むおそれがありますので、絶対に避けてください。



- ②アダプターの継手本体にライニング鋼管をねじ込む場合、必ず相手側鋼管と継手本体にレンチ掛けを行ってください。銅合金側角部にレンチを掛けると①と同様組立て部が緩むおそれがありますので、絶対に避けてください。



コマ印管継手

# リケン管端防食継手

## RCF-K型

# 接合手順および注意事項

必ず本説明書およびカタログに従って施工してください。

 **リケンNPR 株式会社**

 **配管コールセンター**  
配管のお問い合わせ先は下記へおねがいます。

**0120-212-016**

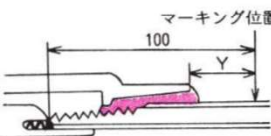
携帯電話、PHSからは …… (0766)25-0421 FAX (0766)25-0433

本社 〒102-8202 東京都千代田区三番町8-1  
TEL (03)3230-3920 FAX (03)3230-3432

札幌 ☎(011)865-1919 仙台 ☎(022)237-0734 名古屋 ☎(052)201-8681  
大阪 ☎(06)4706-6768 福岡 ☎(092)474-0762

工程	接合手順・注意事項
1 管の切断	<p>丸のこ盤、弓のこ盤または帯のこ盤を用いて管軸線に直角に切断してください。</p> <p><b>△注意</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>パイプカッター（ローラーカッター）や高速切断砥石またガスやアーク切断機は絶対に使用しないでください。</li> </ul>
2 管の面取り	<p>以下のように管種にあった面取りを行ってください。 パイプニップルについても同様に面取りを行ってください。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>塩ビライニング鋼管の場合は、スクレーパなどで内面ライニング厚さでの<math>\frac{1}{2}</math>～<math>\frac{2}{3}</math>の面取りを必ず行ってください。</li> <li>ポリエチレン粉体ライニング鋼管の場合は、内面ライニングのバリ取りを行ってください。</li> </ul> <p><b>△注意</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>管の鉄地に達するまでの面取りはしないでください。</li> <li>ねじ切り機のパーリングリーマを使用する場合は、ライニングを損傷させるおそれがありますので注意してください。</li> </ul>
3 管のねじ切り	<p>ねじ切り機は、自動切上げ装置付のものを用い、正しいテーバおねじを切って下さい。 テーバねじリングゲージを用いて、正しいねじが切られていることを確認してください。</p> <p><b>△注意</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>細いねじ、太いねじ、偏心ねじ、多角ねじなどは、管端防食継手の機能を損ないます。</li> </ul>

工程	接合手順・注意事項																																																												
4 管の洗浄	<p>ねじ部及び管内の切削油、切り粉、異物などを、洗浄剤やウエスなどを用いて除去してください。</p> <p><b>△注意</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>油、水等が残っていると、防食シール剤の性能が発揮出来ません。</li> </ul>																																																												
5 防食シール剤の塗布	<p>防食シール剤を、管ねじ部及び面取り部を含む管端面に塗布してください。 シールテープを使用する場合も、ねじ露出部や面取り部を含む管端面に塗布してください。</p> <p><b>△注意</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>全周にわたって均一に塗布してください。</li> <li>防食シール剤の使用にあたっては、シール剤メーカーの指示に従ってください。</li> </ul>																																																												
6 ねじ込み	<p>下表に従ってねじ込んでください。</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>呼び</th> <th>ねじ込み山数 (ねじ込み長さmm)</th> <th>管の標準ねじ山数</th> <th>標準残りねじ山数</th> <th>標準締め付けトルク レンチの呼び×加える力 mm N [kgf]</th> </tr> </thead> <tbody> <tr><td>1/2</td><td>5.5 (10.0)</td><td>11.0</td><td>5.5</td><td>300 ×196 {20}</td></tr> <tr><td>3/4</td><td>6.0 (10.9)</td><td>11.5</td><td>5.5</td><td>300 ×284 {29}</td></tr> <tr><td>1</td><td>5.5 (12.7)</td><td>10.0</td><td>4.5</td><td>450 ×284 {29}</td></tr> <tr><td>1 1/4</td><td>6.5 (15.0)</td><td>11.0</td><td>4.5</td><td>450 ×343 {35}</td></tr> <tr><td>1 1/2</td><td>6.5 (15.0)</td><td>11.0</td><td>4.5</td><td>600 ×314 {32}</td></tr> <tr><td>2</td><td>8.5 (19.5)</td><td>13.0</td><td>4.5</td><td>600 ×412 {42}</td></tr> <tr><td>2 1/2</td><td>9.5 (22.0)</td><td>15.0</td><td>5.5</td><td>900 ×343 {35}</td></tr> <tr><td>3</td><td>10.5 (24.3)</td><td>16.5</td><td>6.0</td><td>900 ×422 {43}</td></tr> <tr><td>4</td><td>13.0 (30.0)</td><td>19.0</td><td>6.0</td><td>950 ×520 {53}</td></tr> <tr><td>5</td><td>15.0 (34.5)</td><td>21.0</td><td>6.0</td><td>950 ×657 {67}</td></tr> <tr><td>6</td><td>15.0 (34.5)</td><td>21.0</td><td>6.0</td><td>1150 ×618 {63}</td></tr> </tbody> </table> <p><b>△注意</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>ねじ込み過ぎるとコアを損傷しますので注意してください。</li> <li>配管角度を調節するためのねじ戻しは、避けてください。やむをえない場合も45°以内にとどめてください。</li> </ul>	呼び	ねじ込み山数 (ねじ込み長さmm)	管の標準ねじ山数	標準残りねじ山数	標準締め付けトルク レンチの呼び×加える力 mm N [kgf]	1/2	5.5 (10.0)	11.0	5.5	300 ×196 {20}	3/4	6.0 (10.9)	11.5	5.5	300 ×284 {29}	1	5.5 (12.7)	10.0	4.5	450 ×284 {29}	1 1/4	6.5 (15.0)	11.0	4.5	450 ×343 {35}	1 1/2	6.5 (15.0)	11.0	4.5	600 ×314 {32}	2	8.5 (19.5)	13.0	4.5	600 ×412 {42}	2 1/2	9.5 (22.0)	15.0	5.5	900 ×343 {35}	3	10.5 (24.3)	16.5	6.0	900 ×422 {43}	4	13.0 (30.0)	19.0	6.0	950 ×520 {53}	5	15.0 (34.5)	21.0	6.0	950 ×657 {67}	6	15.0 (34.5)	21.0	6.0	1150 ×618 {63}
呼び	ねじ込み山数 (ねじ込み長さmm)	管の標準ねじ山数	標準残りねじ山数	標準締め付けトルク レンチの呼び×加える力 mm N [kgf]																																																									
1/2	5.5 (10.0)	11.0	5.5	300 ×196 {20}																																																									
3/4	6.0 (10.9)	11.5	5.5	300 ×284 {29}																																																									
1	5.5 (12.7)	10.0	4.5	450 ×284 {29}																																																									
1 1/4	6.5 (15.0)	11.0	4.5	450 ×343 {35}																																																									
1 1/2	6.5 (15.0)	11.0	4.5	600 ×314 {32}																																																									
2	8.5 (19.5)	13.0	4.5	600 ×412 {42}																																																									
2 1/2	9.5 (22.0)	15.0	5.5	900 ×343 {35}																																																									
3	10.5 (24.3)	16.5	6.0	900 ×422 {43}																																																									
4	13.0 (30.0)	19.0	6.0	950 ×520 {53}																																																									
5	15.0 (34.5)	21.0	6.0	950 ×657 {67}																																																									
6	15.0 (34.5)	21.0	6.0	1150 ×618 {63}																																																									
7 補修	<p>パイプレンチの傷痕およびおねじ露出部に防食剤を塗布して下さい。</p>																																																												

工 程	接合手順・注意事項				
6 ねじ込み	下表に従ってねじ込んでください。				
	呼び	ねじ込み 山 数 (ねじ込み長さmm)	標準締め付けトルク		Y mm
			トルク N・m { kgf・m }	レンチの呼び×加える力 mm N { kgf }	
	1/2	5.5 (10.0)	39 { 4 }	300 ×196 { 20 }	70
	3/4	6.0 (10.9)	59 { 6 }	300 ×284 { 29 }	63
	1	5.5 (12.7)	98 { 10 }	450 ×284 { 29 }	61
	1 1/4	6.5 (15.0)	118 { 12 }	450 ×343 { 35 }	61
	1 1/2	6.5 (15.0)	147 { 15 }	600 ×314 { 32 }	61
	2	8.5 (19.7)	196 { 20 }	600 ×412 { 42 }	55
	2 1/2	9.5 (22.0)	245 { 25 }	900 ×343 { 35 }	52
3	10.5 (24.3)	294 { 30 }	900 ×422 { 43 }	49	
4	13.0 (30.0)	392 { 40 }	950 ×520 { 53 }	42	
5	15.0 (34.5)	490 { 50 }	950 ×657 { 53 }	35	
	<p>管端から100mmの位置にマーキング を行ったときのY寸法は、表の値 になります。</p>  <p>マーキング位置 100 Y</p> <p><b>△注意</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>パイプレンチ、パイプバイスは、被覆鋼管用を使用し、樹脂スリーブ部には、レンチを絶対にかけないでください。</li> <li>ねじ込み過ぎるとコアを損傷しますので注意してください。</li> <li>配管角度を調節するためのねじ戻しは、避けてください。やむをえない場合も45°以内にとどめてください。</li> </ul>				
7 ブチルテープの押し込み	ねじ込み後、はみ出したブチルテープを管とスリーブの間に押し込んでください。				
<p><b>⚠ 器具接続用一般形の接合上の注意事項</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>継手の器具接続側（スリーブのない側）の鉄ねじ部には、防食シーラ剤を塗布してください。</li> <li>器具などのおねじ側にも、防食シーラ剤を塗布、あるいはシーラテープ巻をしてください。</li> <li>水栓類は、水栓おねじの余りねじ山数が1～2山になるまでねじ込んでください。</li> </ul>					



# リケン管端防食継手

## RCF-MK型

### 接合手順および注意事項

必ず本説明書およびカタログに従って施工してください。

 **リケンNPR 株式会社**

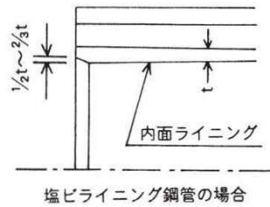
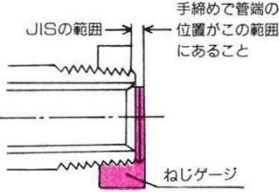
 **配管コールセンター**  
配管のお問い合わせ先は下記へおねがいします。

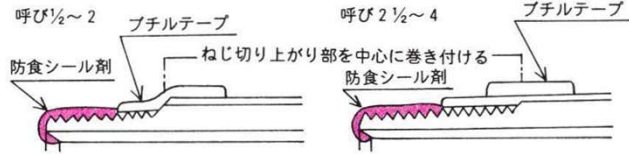
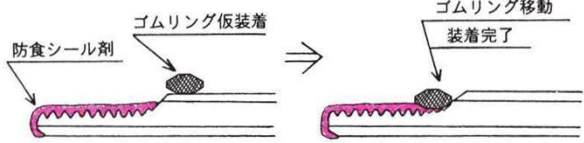
**0120-212-016**

携帯電話、PHSからは …… (0766)25-0421 FAX (0766)25-0433

本社〒102-8202 東京都千代田区三番町8-1  
TEL (03)3230-3920 FAX (03)3230-3432

札幌 ☎(011)865-1919 仙台 ☎(022)237-0734 名古屋 ☎(052)201-8681  
大阪 ☎(06)4706-6768 福岡 ☎(092)474-0762

工 程	接合手順・注意事項
1 管の切断	<p>丸のご盤、弓のご盤または帯のご盤を用いて管軸線に直角に切断してください。</p> <p><b>△ 注意</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>パイプカッタ（ローラーカッタ）や高速切断砥石またガスやアーク切断機は絶対に使用しないでください。</li> </ul>
2 管の面取り	<p>以下のように管種にあった面取りを行ってください。 パイプニップルについても同様に面取りを行ってください。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>塩ビライニング鋼管の場合は、スクレーパなどで内面ライニング厚さの<math>\frac{1}{2} \sim \frac{3}{8}</math>の面取りを必ず行ってください。</li> <li>ポリエチレン粉体ライニング鋼管の場合は、内面ライニングのバリ取りを行ってください。</li> </ul>  <p><b>△ 注意</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>管の鉄地に達するまでの面取りはしないでください。</li> <li>ねじ切り機のパーリングリーマを使用する場合は、ライニングを損傷させるおそれがありますので注意してください。</li> </ul>
3 管のねじ切り	<p>ねじ切り機のチャック、チェーザは、外面被覆鋼管用を用いてください。</p> <p>ダイヘッドは、自動切上げ装置付のものを用い、正しいテーパねじを切ってください。</p> <p>テーパねじリングゲージを用いて、正しいねじが切られていることを確認してください。</p>  <p><b>△ 注意</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>細いねじ、太いねじ、偏心ねじ、多角ねじなどは、管端防食継手の機能を損ないます。</li> </ul>

工 程	接合手順・注意事項																								
4 管の洗浄	<p>ねじ部及び管内の切削油、切り粉、異物などを、洗浄剤やウエスなどを用いて除去してください。</p> <p><b>△ 注意</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>油、水等が残っていると、防食シール剤の性能が発揮出来ません。</li> </ul>																								
5-A ブチルテープを使用する場合のシール剤塗布	<p>管のねじ部に図のように、ブチルテープを巻きつけてから防食シール剤をねじ露出部及び管端面に塗布してください。</p>  <p>ブチルテープの使用長さ</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>呼び</th> <th>ブチルテープの長さ</th> <th>呼び</th> <th>ブチルテープの長さ</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td><math>\frac{1}{2}</math></td> <td>8 cm</td> <td>2</td> <td>24 cm</td> </tr> <tr> <td><math>\frac{3}{4}</math></td> <td>10 cm</td> <td><math>2\frac{1}{2}</math></td> <td>25cm × 2本</td> </tr> <tr> <td>1</td> <td>13 cm</td> <td>3</td> <td>28cm × 2本</td> </tr> <tr> <td><math>1\frac{1}{4}</math></td> <td>16 cm</td> <td>4</td> <td>39cm × 2本</td> </tr> <tr> <td><math>1\frac{1}{2}</math></td> <td>19 cm</td> <td>5</td> <td>48cm × 2本</td> </tr> </tbody> </table> <p><b>△ 注意</b></p> <p>ブチルテープは、必ず専用品を使用してください。</p>	呼び	ブチルテープの長さ	呼び	ブチルテープの長さ	$\frac{1}{2}$	8 cm	2	24 cm	$\frac{3}{4}$	10 cm	$2\frac{1}{2}$	25cm × 2本	1	13 cm	3	28cm × 2本	$1\frac{1}{4}$	16 cm	4	39cm × 2本	$1\frac{1}{2}$	19 cm	5	48cm × 2本
呼び	ブチルテープの長さ	呼び	ブチルテープの長さ																						
$\frac{1}{2}$	8 cm	2	24 cm																						
$\frac{3}{4}$	10 cm	$2\frac{1}{2}$	25cm × 2本																						
1	13 cm	3	28cm × 2本																						
$1\frac{1}{4}$	16 cm	4	39cm × 2本																						
$1\frac{1}{2}$	19 cm	5	48cm × 2本																						
5-B ゴムリングを使用する場合のシール剤塗布	<p>①ゴムリングをねじ切り上がり部より奥へ仮止めしてから、防食シール剤をねじ部及び管端面に塗布してください。</p> <p>②防食シール剤塗布後、ゴムリングをねじ切り上がり部へ移動させ装着してください。</p> <p>③ゴムリングの外面にせっけん水を必ず塗布してからねじ込んでください。</p>  <p><b>△ 注意</b></p> <p>ゴムリングは、必ず専用品を使用してください。</p>																								